

金沢市青少年健全育成推進 アクションプランについて

I 概要

1 目的

令和3年度に教育委員会からこども未来局へ青少年教育部門が移管・集約されたことから、より一層、本市の子ども・若者の育成に係る各種施策との連携を強化し相乗効果を高めながら、将来の金沢を担う人材の育成を図る

2 計画期間

令和5年度から令和7年度までの3年間

3 計画の位置づけ

「かなざわ子育て夢プラン2020」と「金沢市生涯学習振興基本計画」を上位計画とする青少年の健全育成施策に焦点を当てた実践行動計画

4 計画の対象

概ね30歳までの青少年

Ⅱ 青少年の現状

1 社会情勢の変化

- ・ 少子高齢化による人口減少や地域コミュニティの希薄化
- ・ グローバル化の進展やICTの発展
- ・ 新型コロナウイルス感染症による新たな生活様式への対応

2 本市の現状

(令和4年8月～9月 青少年に関するアンケートを実施)

- ・ 青少年の健全育成のため、生きる力を育むといった自己形成の支援が望まれている
- ・ 様々な要因で困難を有する青少年やその家族がいる
- ・ 「近所づきあいを避ける」「青少年に無関心な」大人が多くなっている

Ⅲ 健全な育成に向けた課題

- 絶え間ない変化の時代において、青少年の自己形成（生活習慣や生きる力）を図るための支援や地域への参加活動などを通じて、自立性や協調性を育みながら、社会の一員として自立を促進する取り組みが必要とされている
- 経済的な問題や、ヤングケアラー、児童虐待、いじめなど、青少年が社会生活を円滑に営む上で抱える困難は多岐にわたるため、個々の状況を理解し、発達段階に応じたきめ細やかな支援が行き届くことが求められている
- 少子化や地域コミュニティの希薄化などにより、保護者が身近な人から子育てを学んだり支援を受けたりしにくい状況のなか、家庭と学校と地域などが連携し、社会全体で青少年の成長を支えていく枠組みが必要とされている

IV 計画の体系

基本理念

金沢の未来を担う健やかな青少年の育成

く地域とともに成長できる環境づくりをめざしてく

基本方針

I 全ての青少年の健全な育成と自立の促進

II 困難を有する青少年やその家族への支援

III 青少年の成長・活躍を社会全体で支える環境の整備

施策の方向性

心と体の健やかな成長につながる活動の推進

社会参画の推進と社会的自立の促進

創造的な未来を切り拓く青少年への支援

困難な状況に応じた支援

支援体制の充実

家庭、地域、学校における環境の整備

青少年の安全・安心の確保

青少年の成長を支える担い手の育成・支援

V 具体的な取り組みと推進体制

1 具体的な取り組み

基本方針 I 全ての青少年の健全な育成と自立の促進

1 心と体の健やかな成長につながる活動の推進

- ・ 野外体験施設の充実などによる豊かな心と健やかな体の育成
- ・ スポーツイベントや加賀宝生子ども塾など多様な体験活動の推進 など

2 社会参画の推進と社会的自立の促進

- ・ ユースプロジェクト事業などを通じた地域社会に主体的に参加する青少年の育成
- ・ ICTを活用した教育の推進など社会の変化への対応力の育成
- ・ ものづくり技術向上事業や職場体験教室などを通じた職業能力や意欲の習得の促進
など

3 創造的な未来を切り拓く青少年への支援

- ・ 県内の大学と連携し、まちづくりの課題解決に向けた実践型授業を開設するなど
まちづくりで活躍する青少年への応援
- ・ グローバル人材育成セミナーなどグローバル社会で活躍する青少年の育成 など

基本方針Ⅱ 困難を有する青少年やその家族への支援

1 困難な状況に応じた支援

- ・ 子ども食堂やひとり親世帯制服リユース事業など生活に困難を抱える家庭への支援
- ・ ヤングケアラーへの対応
- ・ 児童虐待や犯罪被害者等への支援
- ・ アンケートによる実態把握や電話相談などによるいじめや暴力行為への対応
- ・ 個別相談や情報サイト開設などによる
若者無業者（ニート）やひきこもりへの支援 など

2 支援体制の充実

- ・ 児童家庭相談室や幼児相談室など支援につなげる体制の整備
- ・ 警察や教育委員会と連携して行うネットパトロールなど関係機関のネットワーク連携強化

基本方針Ⅲ 青少年の成長・活躍を社会全体で支える環境の整備

1 家庭、地域、学校における環境の整備

- ・ 子ども食堂や学習支援教室に対する支援制度などを通じた青少年の居場所づくりの推進
- ・ 親の学びあい講座やかなざわ父親ねっとなどによる家庭の教育力向上への支援

など

2 青少年の安全・安心の確保

- ・ 金沢市青少年健全育成協議会などによる有害環境の浄化活動の推進
- ・ 街頭補導活動やネットパトロールなどによる青少年の非行・被害防止対策の推進

など

3 青少年の成長を支える担い手の育成・支援

- ・ 子ども会連合会や青少年団体連絡協議会との連携による青少年活動の活性化に向けた支援
- ・ 野外活動リーダー育成事業などを通じた地域の多様な担い手の育成・支援

など

2 重要業績評価指標 (KPI)

区分	指標	直近値	目標値 (R7年度)
基本方針Ⅰ	ボランティア活動に興味がある児童生徒の割合	58.6% (全国値 54.3%)	62.0% (※1)
基本方針Ⅰ	地域への愛着心を持つ児童生徒の割合	93.4% (全国値と 比較データなし)	96.0% (※1)
基本方針Ⅲ	自分の関係する居場所で 安心感を持つ児童生徒の割合	自宅 64.6% (全国値 70.7%) 地域 34.0% (全国値 28.2%) 学校 24.5% (全国値 40.5%)	自宅 71.0% (※2) 地域 37.0% (※1) 学校 41.0% (※2)

区分	指標	直近値 (R3 年度実績)	目標値 (R7 年度)
基本方針Ⅲ	補導少年数 (喫煙、飲酒、怠学及び家出をしている青少年のこと)	10 件 <small>参考：ピーク時 472 件 (H15)</small>	5 件
	「愛の一声」少年数 (二人乗りなどの自転車ルール違反、ゲームセンターへの出入り等をしている青少年への声掛けのこと)	5,243 件 <small>参考：ピーク時 5,409 件 (H21)</small>	5,500 件
基本方針Ⅲ	甥杉少年の森・土子原こども野外広場の利用人数 (延べ人数)	甥杉 1,132 人 土子原 751 人 <small>参考：新型コロナ前 甥杉 2,139 人 土子原 2,393 人 (H30)</small>	甥杉 2,200 人 土子原 2,400 人

※1 全国値と比べ本市の値が高い場合及び比較する全国データが無い場合は、年1%ずつの上昇を目標とする。

※2 全国値と比べ本市の値が低い場合は、全国値を目標とする。

3 推進体制

こども未来局を中心とした庁内ワーキングチームを基軸に、本プランの施策を総合的かつ効果的に推進するとともに、地域の青少年関係団体と相互連携を図りながら、施策の効果や新たな課題、ニーズ等の把握に努める。